



こあら組最後のおたよりとなりました。こあら組で過ごしたこの1年、思い返してみると進級当初はまだまだ幼さの残る子どもたちでしたが、様々な活動や行事等を通して子どもたちそれぞれが成長した姿を見せてくれました。今は、ぱんだ組になると期待に満ち溢れている子どもたちです。保護者の皆様にはたくさん支えて頂きありがとうございました。



天気の良い日も多く、散歩にたくさん出掛けました。体力が付き平の公園まで歩くだけでは満足出来ず、海の側まで行くとマラソン大会の始まりです。初めは、早く走ることに夢中になり転んだり、「疲れた～」とすぐに歩いてしまうお友だちもいましたが、最近では最後まで走り切れるようになったり、転んでもすぐに立ち上がりもう一度走り出したりしています。ゴールすると、まだのお友だちを応援している優しい姿も見られます。みんなが走り切ると「もう一回しよう」「あっちまで走る？」とまだまだ体力が有り余る子どもたちです。



引揚記念公園までぱんだ組、きりん組と一緒に散歩にも行きました。お兄さん、お姉さんと手を繋ぎいつもとは違う雰囲気に会話も弾み楽しみながら歩いていました。記念公園では、斜面登りに夢中になっていました。滑る斜面に怖がるお友だちもいましたが、登っていくお友だちに刺激を受け、保育者に手を繋いでもらい登ってみようとするお友だちもいました。2回目では、登りやすい斜面を見つけ登ったり、一度登れたことが自信になり自ら登ったりと挑戦していき、みんなの背中がたくましく見えました。いつもより長い距離ですが、往復しっかりと歩くことが出来、子どもたちの成長を感じました。

きりん組の卒園式練習が始まり気になっていた子どもたちは、ホールからピアノの音が聞こえるとみんなでドアに張り付いてホールを見ていました。きりん組に「ホールで見ていいよ」と声をかけてもらい椅子に座り参加しました。緊張感のある雰囲気に背筋を伸ばし見ていました。ひとりひとり証書を受け取る姿に拍手をしたり、「かっいいい!」「すごい!」と小声で保育者に伝えたりしながら見ていました。1時間程ありましたが、最後まで静かに見学し、終わったあとも「明日も見たい。明日も見ていいかきりんさんに聞いてくる」と話し、かっいいいきりん組の姿が印象的だったようです。室内に戻ると、子どもたち同士で指示を出し合い2列に並んだり「先生たちこっちに並ぶんやな!？」と確認したり・・・何が始まるのか見ているときりん組を真似た卒園式練習が始まりました。「卒園生が入場します。拍手でお迎え下さい。」と保育者が言い入場曲を弾く



と真剣な顔つきになり歩いたり「着席」「起立、合掌、礼拝」難しい言葉が多い中保育者が式の流れてその言葉の言うと「こんなんしとったな」と見様見真似でやってみたり「もう一回しよう」「次は〇〇ちゃんが先生な」と子どもたちで順番に保育者役になり楽しんでいました。見たこと、経験したことを遊びに取り入れ楽しむことが出来るようになったなと嬉しくなりました。2年後の卒園式でのかっいいい姿が楽しみです。



担任より

こあら組のみんなと過ごしたこの1年。子どもたちにとって初めての行事も多くいろいろな経験が出来ました。また幼児クラスになり頑張らなければいけない事もありますが、楽しみが大きく目をキラキラさせ参加していた子どもたちが印象的です。運動会や生活発表会の大きな行事を終えるたびに、自信がつき苦手なことにも挑戦しようとする姿がたくさん見られるようになり嬉しかったです。1年間ありがとうございました。

宮本 恵美  
松岡 渚  
野瀬 千夏



お知らせ

- ★ぱんだ組からは午睡がありません。布団を持ち帰ります。
- ★上靴は、上靴袋に入れて持って来て下さい。毎月末に持ち帰りますので、洗って月曜日に持って来て下さい。
- ★ぱんだ組の用品は、なわとびとマーカーです。記名をし、始業式の日を持って来て下さい。

よろしくお願ひします。